

3/7

園児たちがしいたけ駒打ち体験

子どもたちの食べることへの興味や関心を引き出すため、こども園で原木しいたけの駒打ち体験を行いました。園児たちは、町内で原木しいたけを栽培しているサワタ建設㈱の長谷川繁實さんはせがわ しげみから原木しいたけの栽培について話を聞いた後、しいたけの菌を原木に打ち込む「駒打ち」という作業に挑戦しました。園児たちは、しいたけの菌を繁殖させた種駒とよばれる木片を、コナラの原木に開けられた小さな穴に金づちを使って楽しそうに一生懸命打ち込んでいました。今回駒打ちを行ったしいたけは、秋に収穫する予定です。



3/2

ライザップ RIZAP健康セミナー

RIZAPウェルネスプログラム健康セミナー「スタートアップ編」(運動セミナー)を開催しました。オンラインを活用し、主会場である健康福祉センターと町内事業所5会場、さらに各参加者の自宅からも受講があり、計40人の参加がありました。

日南町民は、全国や県と比較して運動習慣のある人の割合が1割から2割程度低い傾向にあります。生活習慣病予防のためにも運動習慣を身につけることが大切です。

RIZAP講師の西田春成にしだ はるよしトレーナーからは「30歳を過ぎると筋肉は落ちると言われている。身体を動かせるうちに運動習慣を身につけ、筋肉をつけることが大切」と話がありました。その後自宅でもできる、器具などを使わないトレーニングを教わりました。参加者からは、「楽しかった」「続けてやってみようと思う」などの声がありました。



3/9

鳥大・日置教授に感謝状

鳥取大学-日南町ひおさ ぶしゆま連携事業において多大な貢献をされた鳥取大学の日置佳之教授へ、中村町長から感謝状が贈られました。日南町と鳥取大学は平成18年に連携協定を締結し、その後多くの連携事業を実施してきましたが、日置教授は協定締結前から、植物の植生調査や福万来のヒメボタル生息調査など、日南町の自然環境についての調査を実施されていました。また、「鳥取大学-日南町連携事業ワーキンググループ会議」においては、設立当初から14年間もの長きにわたり座長を務め、連携事業全体の推進に尽力されました。



グラウンドに新たな壁画 色とりどりの手形で彩られる

日南小・中学校PTAでは、令和4年度の親子活動で町総合運動場(グラウンド)の壁に手形で花を描くアートを行いました。「もっとやってみよう」「手形の花を増やしたい」との声に応え、町全体へ呼びかけて幅広い層から活動への参加を募りました。3月4日にはこども園の園児やその家族などが参加し、多くの参加者が手形アートを行いました。

完成後の3月6日には壁画の前で小・中学生が記念撮影を行い、ドローンを活用した空撮も行いました。



3/3

木山消防団長が日本消防協会 特別功労章を受章

第75回日本消防協会定例表彰式が東京都で開催され、日南町消防団の木山宗司きやま しようじ団長(茶屋)が特別功労章を受章されました。この特別功労章は、同協会が定例表彰で個人に贈る最高位であり、全国の消防団から毎年10人が選ばれるものです。木山団長の長年にわたる消防団活動が評価され、その功労が特に顕著であると認められての受章でした。

木山団長は「長年の活動が認められ嬉しく思う。これに慢心せず、今後も消防団活動を通じ、町に貢献していきたい」と話しました。

